

1. 時代の変化を捉えたイベント（仕掛け）の企画を

町が開催する各種イベントのあり方について、内容・運営方法にさらなる変化を求める声が上がっている。

イベント実施にあたり、地域や産業の発展（町の経済効果に繋がっているのか）・観光振興の充実（歴史・芸術・文化の伝承、魅力の発信が出来ているのか）・地域振興（町民総参加の下に町民のふれあい、魅力個性の創出の場になっているのか）・定住、企業誘致促進（広く町外に向け発信が出来ているのか）等、効果・意義の検証を行い、企画・実施の充実を図る必要がある。

- ① 各種イベント実施に伴い、来客数・出店ブース売上の推移状況および来客者の特徴（性別・年齢3区分・外国人・交通手段・情報発信元等）の分析を。
- ② 福祉・防犯・防災事業を内容に盛り込んだイベントの構築を。
- ③ あじさい祭りについて、「岡野あじさいの里」会場に、「あじさいの里」と違った付加価値の創造、年間を通じた観光客の流入を。
- ④ 阿波踊りについて、足柄紫水大橋をメイン会場とし、よさこい踊り（大井町）、阿波踊り（開成町）の「踊りの広域交流」を促進しては。
- ⑤ ひなまつりについて、文教行事の一環として、日本の節句の意義伝承の充実を。
- ⑥ 町防災訓練のマンネリ化を防ぐために充実した企画を。